

(第3種郵便物認可)

# 音楽の祭典世界へ響け

「世界と響き合う新しい音楽文化の創造」にふさわしい人物と評価して、監督を依頼した。

公式ロゴは、情熱を意味する赤と理性を表す金の二色で、無限の可能性を表現した波形と田があらわれたデザイン。今後作製されるポスターやパンフレットに記される。

今年11月に浜松市で開かれる「世界音楽の祭典」の音楽監督を委嘱された作曲家の三宅純さん(58)が8日、浜松市役所で鈴木康友市長を表敬訪問し、祭典に向けて意気込みを語った。情熱と理性の融合をコンセプトにした公式ロゴも示された。(古檀山祥伍)



公開されたロゴについて感想を話す三宅さんと鈴木市長。浜松市役所で

## 音楽監督の三宅さん「演奏家の集結楽しみ」

三宅さんはパリを拠点に、CMや舞台音楽などの作曲で国際的に活躍。音楽分野以外にも、グラフィックデザインや映像芸術にも造り込みがあり、市内各地の委員会が今回のテーマが催される。

### 公式ロゴもお披露目

(第3種郵便物認可)

# 11月の「世界音楽の祭典 in 浜松」 音楽監督に三宅氏

ことし11月に浜松市内各地を会場に初めて開催される音楽イベント「世界音楽の祭典 in 浜松2016」のユネスコ音楽都市はままと推進事業実行委主催の音楽監督就任が決まった国際的な作曲家の三宅純さん(58)が8日、市役所に鈴木康友市長を訪ね、世界的な音楽イベントへの期待を語った。



鈴木康友市長(右)に公式ロゴマークを披露する作曲家の三宅純さん(左)。8日午後、浜松市役所

三宅さんは「モダンでコンテンポラリー。非常に気に入って

ユネスコ創造都市ネットワーク音楽分野に加盟する18都市の参画を求め、多彩なジャンルの音楽家が集結する計画。11月3、4、6日の4日間開催予定。フランス・パリに拠点を置き、映画やCM、アニメなどを多彩な分野で作品を手掛ける三宅さんは「各都市からどんなミュージシャンが集まって違う音を奏でるのか、楽しみで仕方ない」と話した。鈴木市長は「浜松にとっては非常に大きな事業。ぜひ三宅さんの力で世界にPRしてほしい」と呼び掛けた。イベントの公式ロゴマークも披露された。ロゴは「ワールド」と「ミュージック」の頭文字を、躍動感ある赤と金の波形で表し、祭典への高揚感を表現し